

令和6年度第3回広島市教科用図書採択審議会会議録

署名者 小田 啓史

会議録調整者 藤本 充泰

令和6年7月19日午後1時00分 令和6年度第2回教科用図書採択審議会を広島市教育センター3階第13研修室において開催した。

1 開会及び閉会に関する事項

開会 午後1時00分

閉会 午後4時45分

2 出席委員

会長	小田 啓史	副会長	佐藤 真実子
委員	佐々木 英三	委員	河野 緑
委員	東 歸 達子	委員	佐々木 功一
委員	藤 村 涉	委員	宮崎 将三
委員	大 出 愛	委員	荏 隈 敏之
委員	中村 謙太郎	委員	中 川 縁
委員	沖野 由佳	委員	今野 藍子
委員	船谷 季弘	(委員)	尼子 一高 欠席)
委員	長谷川 明子	委員	田中 輝雄
(委員)	山田 浩之 欠席)		

3 事務局の出席者

長屋 吉輝 指導第二課長
与座 淳 指導第二課長補佐
藤本 充泰 指導第二課指導主事
日浦 聡一 指導第二課指導主事
宗本 千鶴 指導第二課指導主事
牧野 誉 指導第二課指導主事
波止元 貴士 指導第二課指導主事
山川 志帆 指導第二課指導主事
清水 裕美 指導第一課指導主事
梅田 大造 指導第一課指導主事

4 議事日程

- (1) 開会
- (2) 採択審議会 会長挨拶
- (3) 中学校用教科用図書（技術・家庭【家庭分野】、数学、美術、音楽【一般】、音楽【器楽合奏】保健体育に係る調査・研究の結果について（報告）
- (4) 教育委員会への答申について（審議）
- (5) 採択審議会 会長挨拶
- (6) 指導第二課長挨拶
- (7) 閉会

5 議事の概要

○ 藤本指導主事

本日の進行役をさせていただき指導第二課の藤本です。開会に先立ちまして、一言申し上げます。現在、本採択審議会の皆様、19名の内、17名の出席をいただいております。「3分の2以上の出席」であることから、本採択審議会は成立することになります。なお、委員の皆様の内、山田委員、尼子委員から欠席届が出されておりますのでお知らせしておきます。

本日お配りしております、資料について確認させていただきます。(資料1、資料2)なお、資料につきましては、会議終了後、回収させていただきますので、よろしく申し上げます。

それでは、令和6年度第3回広島市教科用図書採択審議会を開催いたします。

議事について、会長・副会長の方で進めていただきたいと思います。小田会長、佐藤副会長、よろしく申し上げます。

○ 小田会長

それではよろしく申し上げます。本日は、技術・家庭科(家庭分野)、数学科、美術科、音楽科、保健体育科の5教科6種目について御審議いただくことになっています。たくさんの教科書を審議することになりますが、限られた時間の中で審議が適正に進むよう努めてまいりますので、委員の皆様には、様々な観点から幅広く御意見をいただき、充実した会となりますよう、御協力をよろしく申し上げます。

配布付資料の1の1ページにありますとおり、進めていきたいと思っております。

技術・家庭科(家庭分野)から1種目ごとに教科書の調査・研究報告を調査員の代表からしていただきます。前回と同じように、我々委員は、教科書を手に取り、資料2と合わせて目を通しながら、報告をお聞きしたいと思います。報告後、委員の皆様から質問がございましたら、出していただき、報告について確認した後、資料に基づいて審議してまいります。

それでは、「審議」に入りたいと思っております。

(家庭科の調査員代表者 溝下校長 入室)

○ 小田会長

それでは、技術・家庭科 家庭分野の調査代表から技術分野の調査・研究について報告をお願いします。

(調査代表説明)

○ 小田会長

ありがとうございました。今の報告に対して質問はございませんでしょうか。

○ 船谷委員

はい。

○ 小田会長

はい。お願いします。

- 船谷委員
災害に関してなんですけど、先ほどの説明には教育図書さんのことが触れられていなかったようですが、教育図書さんも災害のことを書いてあるのですが、いかがでしょうか。
- 調査代表 溝下校長
どこのことをおっしゃっていますか。
- 船谷委員
報告書の8ページです。
- 調査代表 溝下校長
住居のところの範囲の中にあることと、今、説明させていただいたのは、特集として別枠で組んであるということで説明させていただきました。住居の、住生活の指導内容の中にこの内容がありますので、2者のそのページにもありますが、特出して特集として別枠として2ページ、8ページ組んであるのがこの2者であると説明させていただきました。
- 船谷委員
はい。わかりました。
- 小田会長
そのほかございますか。それではこの報告書にまとめられている内容について、これでもよろしいですか。はい、ありがとうございます。それでは調査代表の先生、ありがとうございます。ご退出ください。
- 調査代表 溝下校長
よろしく申し上げます。

(調査代表退室)

- 小田会長
それでは、前回の審議と同様に、本市の実態や生徒の状況に即した教科書としてもっともふさわしいものはどれかを審議し、よりふさわしい、ふさわしい教科書を決めたいと思います。審議に当たっては、本市の実態や生徒の状況に即してまとめられた報告書を参考に、全ての教科書の特徴を比較して、本市の生徒の課題に対応する特徴がある教科書を定めるということで、よろしいでしょうか。それではこれでいきたいと思いますので、御意見のある方よろしく申し上げます。では、前回同様、まずは教科の専門の先生からお伺いしたいと思います。中川委員、いかがでしょうか。
- 中川委員
はい。生徒の実態として、調理等の経験をしてない、差が大きい部分があります。だから、必要とは感じていますが、なかなか実践に移せないというようなこともありますので、さきほど教科書で、三者ともハンバーグの作る実践を取り上げても、各者工夫があると思ったんですけど、特に東京書籍にはポイントがのっているところとか、開隆堂の「なぜ〜？」というところ

ろは非常に特徴的で良いなと思いました。こどもたちも授業で説明しようかなと思ったときにつぶやいたりします。どのようにして、こういう風にやるように書いてあるのですが、どうしてなのかなっていうところなんかは、特にここは特徴的に書いてあるので、授業で使いやすいなと考えます。

○ 小田会長

ありがとうございます。はい、他にいかがでしょうか。観点、視点としてどうかという意見もいただけるとよいと思います。

○ 藤村委員

本市の実態や生徒の状況で、生活の中から問題を見いだして解決する力や生活を工夫し創造しようとする態度の育成が必要であるというところから、さきほどもありましたが、開隆堂出版の「なぜ」というのはとても重要なことと思いました。私が理科の教員なので、理科の観点からみて申し訳ないですけど、常日頃からなぜってというのは、こどもたちに育んでもらいたい力だと思っています。そういった意味で、調理のところしか見ていないですが、この「なぜ」は大事にしてもらいたいと。そういう意味では開隆堂出版かなと思います。

○ 小田会長

その他、5つの観点もありますし、いかがでしょうか。

○ 船谷委員

「なぜ」という部分ですけど、教育図書では「どうしてこうなったかな？」と失敗例がまずついていて、私、調理の仕事もしていましたが、その失敗を教えてあげることで、その失敗に対して考える。そうさせることで、興味がわくとか、そういったことで、この失敗例というのはなかなか面白いなと思いました。加えて教育図書さん、絵が見やすい。きれいな感じがしました。

○ 小田会長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

○ 佐々木（英）委員

さきほどの本市の生徒の課題として、生活の中から課題を見いだして解決するというところで、そういう意味では東京書籍と開隆堂っていうのが、全体を通してそうですし、特に観点2の視点②のところですかね、ページとしては2ページでしょうか、こういったところにしっかり特徴が表れているなというふうにすごく感じました。特に、今の説明を聞きますと、開隆堂出版の方は、二つ目の特徴のところですね、生活の課題と実践というところで、生活の中から課題を見いだそうとしている、そういう例も豊富に入っていますので、開隆堂出版がより良いのかなと、次は東京書籍かなと思いました。

○ 小田会長

はい、ありがとうございます。報告にもそのようなことがありますね。他にはいかがでしょうか。

○ 中川委員

さきほどの、今の意見と重なる部分がありますが、生活の課題と実践という部分は、小学校、中学校、高等学校で同じような、みんなが実践していきましようという例がずっとつながっていていると思います。今お聞きいただいたように、実践例がたくさんあるとこどもたちも考えやすいというところでは、東京書籍や教育図書も同じ内容なんです、やはり開隆堂出版がよりたくさん出されているのと、あとやはりなんといっても災害に関する備え、色んなハザードマップの部分とか、普段使っているものをどうやって災害時に備えるかっていうところが、非常に具体的に考えられると思います。

○ 小田会長

様式1にも書いてありますね、本市の災害のところとということのお話をということですね。その他ございませんか。

○ 田中委員

私も東京書籍か、開隆堂出版が良いと思います。理由としましては、例の数に違いがありますが、まんべんなく例を取り上げているところがいいと思いました。また、ご意見出てきましたけど、自分の言葉でまとめさせるとか、自分でなぜっていう風に考えるというところの観点から、この二者が良いと思います。

○ 小田会長

はい。長谷川委員、いかがですか。お子さんが教科書を使われるところを想像しながら。

○ 長谷川委員

どの教科書も私が使っていたものよりはるかに詳しくて、見やすい教科書になっていますが、それが果たしてよいのだろうかちょっと思う部分があって。一人でこうやって勉強をするのであれば、詳しく書いてある方が良いと思いますが、学校で授業の中で、教科書にすべて答えがある。そのため、今のこどもたちは自分で考えて、次何をするかっていうのが苦手になっているんじゃないのかなって、教科書を見ると思っています。

○ 小田会長

確かにそうですね。考えさせるということは、観点にもありますから。

○ 長谷川委員

教科書に自分で考えて書こうとはなっていますが、内容が詳しく書いてある。また、わからなければ周りに聞けばいいと思っています。これでは、自分で考えることができず、また、できなければ、次どうするかっていうのを考えなくなってしまう気がします。

○ 小田会長

ありがとうございます。全て検定を通っている、良い教科書がそろっています。その中でよりふさわしいというところで、色々ご意見いただきました。その他いかがでしょう。

○ 佐々木（功）委員

4ページの観点2の視点2の1つ目、巻頭ガイダンスを比べ、考えさせてもらいました。そ

うすると開隆堂だけが、生活課題に取り組むという視点でガイダンスしてから、課題解決学習へ入っています。ほかの教科書については、課題解決学習の流れは説明していますが、生活課題からは入っていません。そのことから、ふさわしいを決めるのは難しいです。ただ、最初のガイダンス、その後の流れが良い開隆堂はいいと思いました。

○ 小田会長

調査報告を聞いて、皆さんの意見を聴くと、難しいですが、今聞いた意見では、開隆堂がよりふさわしい、東京書籍がふさわしいというところかなと思いますが、いかがですか。

(一同頷く)

○ 小田会長

皆さんの賛同をいただきました。その他、答申として付すべきことがありますか。

○ 船谷委員

よろしいでしょうか。開隆堂は、クエスチョンで終わっているタイプのもので多くて、やってみよう、考えようとか、そういうものが多くて、すごくいいなと思いました。私、防災士をしていますが、その災害に対するものでもったいないと思うのは、その防災に対する事前に準備するものが、考え方によって、個々にも違います。教科書では、非常用持ち出し袋を準備しましょうと決めています。人によっては薬や、コンタクトレンズ等になると思います。その人にとって必要なものを考える部分を考えさせてないと思います。もし、教科書会社にリクエストできるのであれば、その部分をリクエストして欲しいと思います。

○ 小田会長

ご意見ありがとうございます。それでは、いただいた意見を基に答申を作成して参りますが、その作成については会長、副会長に一任していただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 小田会長

それでは、技術・家庭科 家庭分野はこれで終了です。次に進めてまいりたいと思います。

(数学の調査員代表者 出元校長入室)

○ 小田会長

それでは、数学の調査代表から調査・研究について報告をお願いします。

(調査代表説明)

○ 小田会長

ありがとうございました。ただいまの報告の内容で、何かご質問等はございますか。

○ 佐々木（英）委員

よろしいでしょうか。先ほどの説明で誤答の取り上げ方について触れられていましたが、もう一度説明をお願いしてもよろしいでしょうか。

（誤答の取り上げ方について再度説明）

○ 佐々木（英）委員

ありがとうございました。

○ 小田会長

その他、何かご質問等はございますか。

ないようです。それでは、調査員の代表の方ありがとうございました。ご退室ください。

（調査員代表者退出）

○ 小田会長

それでは、審議に入りたいと思います。ご意見ある方、いらっしゃいますでしょうか。

○ 佐々木（功）委員

東京書籍の2年生の28ページの下にあるような問題解決の後の「大切にしたい見方考え方」のコーナーが良いなと思って聞いていました。ここに書かれていることだけでは授業のきっかけになる部分なので、こどもたちに身につけたい力のところで非常に大きいコーナーになると思って聞かせてもらいました。授業の中でこれを活かして授業をすることはありませんが、こどもが教科書に戻ったときに、「授業でこんなことを取り扱ったな」と思えるコーナーが用意されているところが東京書籍のいいところだと思いました。

学校図書でいうと、3年生の教科書の○ページ「次の課題へ」があります。数学に限らず、どの教科でも前の時間の復習をして次の時間の授業に入るというのが生徒にとって授業に入りやすいと思っています。「次の課題へ」のコーナーが掲載されている学校図書の教科書を使うと、前の時間の復習をして次の授業に入るという授業の展開がしやすいと思います。

また、数学では「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」等と学習内容の領域に分かれています。学校図書では、章ごとではなく、領域毎の振り返りを行っているので、教科書を越えて学年間で学習内容がつながっていく様子が生徒に伝わるのは非常に良いと思って日ごろの授業を行っています。領域毎の振り返りや「次の課題へ」のコーナーは教員、生徒としても意義のあるコーナーだと思いました。とりあえず以上ですが、他にも後で気づいたことがあれば、また発言させていただきます。

○ 田中委員

先ほどご意見がありましたように、東京書籍の2学年の84ページを見ていますが、「大切にしたい見方・考え方」の欄に「1次関数とみなせる理由を考える」とありますが、この記述は非常にいいなと思います。ある意味感動を覚えています。他にも東京書籍の2年生の教科書の61ページに線香が燃える動画のリンクがある。線香が燃える動画がこのリンクから見られるのなら良いと思います。

それから、学校図書ですが、基本的な計算の練習問題の量が他者に比べて非常に多いのかな

という印象を受けます。これは本市の課題の30%未満の生徒の割合が多いという課題にあっているのではないかと思います。

○ 小田会長

田中委員から本市のこどもの課題に触れていただきました。本市のこどもたちの課題を考えたときに、各者の特徴はいかがですか。

○ 船谷委員

教科書の特徴に関する意見ではないですが、私自身数学を苦手と感じています。こどもに数学のことを聞かれたときに、「全部教科書に書いているよ」と言えるくらい、答えの導き方や問題へのアプローチなどがしっかり書いている教科書がいいと思います。

例えば、3年生の関数が分からないとこどもから質問があったときに、「それが分からないなら、1・2年生の〇〇に戻ればいいよ」というアドバイスができるような教科書が望ましいと思います。

○ 佐々木（功）委員

今のお話で言うと、学校図書の2年生の68ページの関数領域の振り返りのページを見ていただくと、関数領域の前の学年でこんな学習をしましたねというのが分かるようになっていきます。

○ 船谷委員

すばらしいですね。

○ 佐々木（功）委員

生徒がこのページを見ると、「2年生で学習する1次関数は1年生で学習した比例反比例の仲間なんだな」と理解することができます。自分自身が授業をするときにも、領域の振り返りのページは使わせていただいています。お子さんがご家庭で学習するときに、単元を学習する前に振り返りからスタートさせることができ、学習する内容の準備運動ができます。

資料2の12ページの観点1の「既習事項の関連付けの工夫」はどの教科書会社もされています。中でも学校図書、教育出版、日本文教出版は側注、巻末、目次、章の前あるいは領域の前に4つの場面で既習事項の振り返りをしており、比較的他の教科書発行者よりは詳しく振り返りが行われていると思います。これまでの審議では学校図書と東京書籍の2者の話題が多かったですが、この部分でも学校図書は審議員から支持されているのかなという気がします。

○ 船谷委員

ありがとうございました。

○ 小田会長

視点①は本市の生徒の課題に対応しているところですね。

○ 宮崎委員

今、私が担当している生徒たちも数学をとっても苦手としています。今回の視点で言うと視点①の基礎基本を身につけさせる教科書がいいと思います。基礎基本が定着していないと数学的

な表現を用いた説明を行うことができないといったこともあるため、本市の課題である「数学的な表現を用いて説明すること」、「日常生活で活用すること」を解決するには視点①の基礎基本定着が必要だと思います。そういう視点になると、学校図書の「計算力を高めよう」のコーナーはいいと思います。学校図書の次の学習内容につながる疑問を示している「次の課題へ」は前後の学習内容を関連づける上では有効だと思います。

(一同頷く)

○ 小田会長

頷いている方がたくさんおられますね。東京書籍、学校図書に対してのご意見が多くありましたが、この2者が「よりふさわしい」、「ふさわしい」でいいですかね。

(一同頷く)

○ 小田会長

では、どちらが「よりふさわしい」かですが、今の皆様のご意見をうかがっていると学校図書かなと感じましたが、いかがでしょうか。

(一同頷く)

○ 小田会長

頷いておられる方が多いようですが、「よりふさわしい」のは学校図書、「ふさわしい」のは東京書籍としてよろしいでしょうか。

(一同頷く)

○ 小田会長

ありがとうございました。頂いたご意見を基に答申をしていこうと思います。他にご意見はございませんか。特にないでしょうか。

(一同頷く)

○ 小田会長

その他、答申として付すべきことがありますか。

それでは、いただいた意見を基に答申を作成して参りますが、その作成については会長、副会長に一任していただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 小田会長

それでは、数学はこれで終了です。次に進めてまいりたいと思います。

(美術の調査員代表者 橋本校長入室)

- 小田会長
それでは、美術の調査代表から調査・研究について報告をお願いします。

(調査代表説明)

- 小田会長
ありがとうございました。ただいまの報告の内容で、何かご質問等はございますか。
ないようですね。それでは、調査員の代表の方ありがとうございました。ご退室ください。

(調査員代表者退出)

- 小田会長
それでは、審議に入りたいと思います。ご意見ある方、いらっしゃいますでしょうか。

- 大出委員

私は美術を担当しているのですが、現在は光村図書出版を使用しているため、慣れているため使いやすいということはありません。私の担任する生徒も同様ですが、本市の生徒の課題として、つくったり描いたりすることは好きな生徒が多いのですが、一歩進んで、どうすればもっとよくなるか、どうすればもっと美しくなるかと思いを働かせて、試行錯誤して表現することについては難しさを感じています。光村図書出版（美術1）の巻頭に「うつくしい！」「うつくしい！を探してみよう」という特設ページを設けています。小学校図画工作科とのつながりの中で楽しみながら造形活動をしてほしいという思いを伝えるとともに、日常の中で生徒がそれぞれに感じる「うつくしい！」を大切にすることを促しています。楽しみながらたくさんの「うつくしい！」を求めていくことが、豊かな心の育成につながると考えています。また、「うつくしい！」を求めることは、どうやったらもっといいだろう、どうやったらもっとよくなるだろうと考えて活動する際に、生徒のヒントとなり続けるものだと思います。光村図書出版は、「うつくしい！」を求めることで豊かな心の育成を目指すことに力を入れていると思います。また、開隆堂出版は文字が多く、資料集のような印象を受けます。作り方まで掲載されていて、説明書のような構成となっている点も、資料集のような印象に繋がっている気がします。

- 小田会長
ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

- 河野委員

国語科の河野です。私も光村図書出版がいいなと思います。美術1の巻末「美術鑑賞を楽しむ手がかり」のページで、国語科とのつながりを示しています。国語の時間に詩を鑑賞したとき、ぴったりだと思える画像をタブレット端末で探すような活動をしています。イメージを膨らませるのに、美術科、音楽科、国語科の繋がりを大切にして指導できます。

また、別冊となった（美術1資料）についても、よくまとめられており、卒業後もずっと使えるものである。見ていてすごく楽しくわくわくします。

- 小田会長
ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

- 宮崎委員
音楽科を担当する宮崎です。こういうことを伝えたいからこういう技法を選択するという学びの流れは美術科と音楽科は類似しています。光村図書出版 美術1の巻末「美術鑑賞を楽しむ手がかり」で、「美術鑑賞を広げる言葉」を挙げていることがよいと思います。これがあることで、生徒は感じたことを言語化しやすくなります。生徒は美しいものは美しいと感じ、よい表現からいい作品だねと感じる力がありますが、言語化し、整理することが難しい。授業の中で鑑賞し考えたことを書く活動において、このページに美術鑑賞を広げる言葉が出ていることによって、自分が書きたい気持ちに気付くヒントとなり、言語活動を充実させる手立てとなっています。また、美術1資料が別冊になったことで、私はこうしたい、そのためにどのような表現技法を選択すればいいかを、自分で調べられるような構成になっているところがよいと思います。

- 小田会長
ありがとうございます。他のご意見等ございますか。

- 藤村委員
よろしいでしょうか。ページの資料26ページの日本文教出版の2つ目の調査項目の中にICTの活用の視点からのポイントが示してあります。タブレットを使うとこのようになりますと紹介しているのがいいと思います。コンピュータを通して美術への関心が高まるような関連があつていいと思います。

- 小田会長
保護者代表の方、子どもたちが使うと考えてご意見どうでしょうか。

- 長谷川委員
光村図書出版は【美術1資料】が別冊になっているのがすごくいいと思います。わからないやり方が、教科書の中にあるよりも探しやすいですね。

- 小田会長
ありがとうございます。

- 田中委員
各題材の学びを通して、いいもの、本物を見るという経験が大切であると思います。資料28ページの視点6「題材や資料等の配列」の「○題材数」と「○学びの資料」によると、開隆堂出版は少なめで、光村図書出版と日本文教出版は多めに掲載されているため、光村図書出版と日本文教出版の2者がよいと思います。

- 小田会長
ありがとうございました。その他ございませんか。

(意見なし)

○ 小田会長

はい。それではここまでの意見をまとめると、光村図書出版がよりふさわしい、日本文教出版がふさわしいということによろしいでしょうか。

(一同頷く)

○ 小田会長

ありがとうございました。では、そのように答申したいと思います。美術はこれで終了です。次に進めてまいりたいと思います。

(音楽の調査員代表者 大片校長入室)

○ 小田会長

それでは、音楽の調査代表から調査・研究について報告をお願いします。

(調査代表説明)

○ 小田会長

ありがとうございました。ご質問はございませんか。報告書の内容について、これによろしいでしょうか。それでは、調査員の代表の方、ありがとうございました。

(調査員代表者退出)

○ 小田会長

それでは、審議に入りたいと思います。ご意見ある方、いらっしゃいますでしょうか。

○ 宮崎委員

多様な音楽に親しむというところに関連して、視点⑦の他教科や、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化との関連の示し方というところで、教育芸術社は全学年郷土の祭りや芸能を示しているというのが他者との差なのかなと思います。多様な音楽というのは、もちろん私たちの地域で愛されている音楽であり、他の地域に行ったらそこで愛されている音楽があるということです。そのことを知ることが大切だと思うので、それらが見られる、知れる、といった仕掛けが全学年にあるというのはいいのかなと思いました。あとは、今回の審議会では審議しないとのことですが、私自身は創作分野に苦勞しており、同じような先生方も多いと思うのですが、QRコードを読み取った先のところに、「創作ツール」があって、便利なものが出てくるのかな、と期待しています。

加えて注目したいところがあって、音楽には歌唱共通教材というものがあり、この曲は学習指導要領にも示されているのですが、各者で扱われ方が違ってきます。教育出版は、例えば1年生20ページで、左の方のめあて文のようなどころには、曲の形式を生かして歌おうとあり、次の22ページの歌唱共通教材も、曲の形式を生かして歌おうとなっており、曲の形式に着目して学習するようになっていきます。それに対して、教育芸術社の方は、1年生の24ペー

ジは「歌詞や旋律、伴奏から情景を想像しよう」とあり、28ページも「情景」となっています。教育出版は「形式」が多くあります。ここからは個人的な思いですが、日本の歌曲を扱う意味と言ったら、やっぱり日本特有の四季の美しさであるとか、情緒とか、わびさびだと思っ
ていて、形式を学習するのであれば、日本の歌曲でなくてよいと思います。そのような意味
で、歌唱共通教材と向き合う姿勢として、教育芸術社がよいと個人的に思いました。

○ 小田会長

はい、わかりました。その他いかがでしょうか。

○ 中村委員

音楽は、自分が中学生の時に難しいなと思っていました。音楽は1回聴いたらなくなってしま
って、どのように考えればよいのか、と考えたことがありました。今回2者の学びのコンパ
スとActive!のところを見比べて、学びのコンパスがある教育芸術社さんの方が、どのよう
に考えたらよいのかという視点が沢山書かれていて、このように考えたら良いというのを考えや
すいのかなと思いました。それが、関心や理解を深めたりすることに課題があるところを手助
けすることになると思いました。また、教育芸術社の2・3年生下の66、67ページに、こ
んなところで音楽が役に立っているか、というところで、教育出版は、社会で役に立っている
様子や将来こういうことが関係していることがより身近に感じられました。そうしてみていく
と教育芸術社の方が特徴が多いのかなと思いました。

○ 小田会長

ありがとうございました。他の委員、いかがでしょうか。

○ 船谷委員

皆さんの御意見の内容を聞くと、教育芸術社の方が情緒が感じ取れる導入になっているなど
思いました。それと、関係ないかもしれませんが、教育出版の方が紙触りがよいと思いま
した。

○ 小田会長

ありがとうございました。2者なので、よりふさわしいを決めると、自動的にもう片方がふ
さわしいということになるかと思います。今の意見を聞きますと、よりふさわしいのは教育芸
術社となりますが、よろしいでしょうか。

(一同頷く)

○ 小田会長

答申に付け加えるご意見はありますか。特にないでしょうかね。ありがとうございました。
では、続いて、器楽合奏についての調査研究の報告をお願いいたします。

(音楽科調査員代表者 大片校長入室)

○ 小田会長

音楽の調査代表から音楽 器楽合奏の調査・研究について報告をお願いします。

(調査員代表者説明)

○ 小田会長

ありがとうございました。ご質問等ございますか。この報告書にまとめられた内容でよろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。

(調査員代表者退出)

○ 小田会長

2者なので、どちらかがよりふさわしい、どちらかがふさわしいとなるかと思えます。それでは報告について、ご意見をお願いします。

○ 宮崎委員

はい、器楽に関しては、どちらがすごく優れている、というのは難しいと思いました。1つ分かりやすいのは、リコーダーで、この曲で何を身に付けるのかということが分かりやすいのは、例えば、教育芸術社の8ページはリコーダーで奏法についてはこの教材など印をつけており、全体的な動きが見えるのは教育芸術社かと思えます。教育出版は各曲に示していると思います。

○ 小田会長

ありがとうございます。その他で御意見ありますか。

○ 佐々木(英)委員

はい、どちらの教科書も、音楽的な思考・判断・表現の力を付けるといったところに取り組んでいると思いました。37ページの観点2視点②音楽表現を創意工夫するための工夫のところで、教育芸術社2つの丸で、学びのコンパスの設定や、吹き出しを使って思考を促しているといったところが、教育芸術社の方がリードしていると思いました。また、視点の⑤生活や社会の中の音や音楽に関心を持たせようとするところでも、教育芸術社の方がリードしていると感じました。

○ 小田会長

ありがとうございます。そのほかございませんか。

○ 宮崎委員

音楽・一般とのつながりになりますが、学びのコンパスが共通しているというだけでも、中学生にとっては、同じ授業の中で理解がスムーズにいくのではないかと思います。

○ 小田会長

教育芸術社の学びのコンパスの吹き出しの部分で思考を促すといったところは、共通点がありますね。「音楽・一般」では、教育芸術社がよりふさわしいとなったので、同じ音楽の授業で違うものを使うのも、音楽の教諭や使うことも私たちにとっても難しいかもしれないですね。

では、よりふさわしい教科書は、教育芸術社のほうでよろしいでしょうか。

(一同頷く)

- 小田会長
ありがとうございました。では、そのように答申したいと思います。
音楽 一般 器楽合奏はこれで終了です。次に進めてまいりたいと思います。

(保健体育の調査員代表者 藤本校長入室)

- 小田会長
それでは、保健体育の調査代表から調査・研究について報告をお願いします。

(調査代表説明)

- 小田会長
ありがとうございました。ただいまの報告の内容で、何かご質問等はございますか。
- 佐々木 (英) 委員
よろしいでしょうか。スクリーンタイムとは何ですか。
- 調査員代表 藤本校長
スマートフォン等を扱い、画面を見ている時間のことです。
- 佐々木 (英) 委員
ありがとうございました。
- 小田会長
その他ございませんでしょうか。

(質問なし)

- 小田会長
それでは、この調査報告でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

(調査代表退室)

- 小田会長
それでは、審議に入りたいと思います。ご意見のある方はお願いします。
- 荏隈委員
様式1に書いてある本市の実態や生徒の状況が大切だと思って聞かせてもらいました。本市の生徒の状況として、総運動時間の減少、スクリーンタイムや朝食欠食生徒の増加があり、生活習慣との関連付けが一番大きな課題だと思うので、観点で言うと「主体的に学習に取り組む工夫」に力を入れている教科書が良いなと感じました。それを受けて、観点3の④の5つ目の

丸のところが生活につなげるためのポイントを示してあると先ほど報告があった点と、6つ目の丸でスクリーンタイムについて大きく取り上げているのが東京書籍と大修館書店という点から、東京書籍と大修館書店が本市の実態に合った形で教科書がつくられているように感じました。その中でも、自然災害に対する知識と備えということを考えた時に、観点2の③の自然災害のところ、大修館書店は小单元「災害と環境」で本市の実態に合った内容を掲載していることや、初めに言ったように日常生活や生活習慣との関連を考えた時に、日常生活に生かすことができる実習の具体例というところを見ると、観点2の③の3つ目の丸で大修館書店は10箇所示しているというところが、大きく他と異なる点だと思うので、大修館書店が少し抜けていると思います。

- 小田会長
ありがとうございました。続いて、いかがでしょうか。
- 田中委員
今、話がありました、③の実習の具体例は大修館書店が多いですが、東京書籍も「巻末スキルブック」で心肺蘇生法についてかなり詳しく掲載しています。東京書籍 180 ページからページを割いて具体的に手順を示しているのかなと感じました。
- 佐藤副会長
大修館書店も 116 ページから心肺蘇生法について同様の手順を示していますね。
- 小田会長
巻末にあるか、小单元の中にあるかの違いですね。その他、ご意見はありませんか。
- 佐々木（功）委員
大修館書店は各章の初めに「学習を始める前に」というチェックリストがあって、「生活習慣病って何だろう？」や「がんはどんな病気だろう？」といった問いが必ず入っていて、その章で何を勉強するのかという所がはっきりしており、他者との差だと感じます。子どもたちが何を学習するのかを示すことは、主体的に学習に取り組むという点でそういった問いが載っているのが良いところだなと思います。
- 小田会長
問いから入っていることと、学習のねらいが示してあるという点ですね。
その他、ありませんか。
- 長谷川委員
教科書を見ると、大修館書店と東京書籍はウェブコンテンツが多いように感じました。
- 小田会長
ありがとうございました。その他の委員の方でご意見ありませんか。
- 小田会長
本市の生徒の体力や生活習慣の課題をもとに、今いただいたご意見を考えますと、大修館書

店と東京書籍にしぼられるかなという気はしますが、どちらがよりふさわしい教科書になりそうですでしょうか。

○ 船谷委員

私のこどもの頃の経験からすると、スポーツができる子とできない子といったように分かれていたように感じます。また、体力テストについても今できることを求めるだけのものだと感じます。大修館書店は今の体力をベースに伸ばしていくといった部分があり、そこが必要なのではないかと思います。体力テストをやって「あなたはこうでしたよ」で終わるのではなく、今ある自分の体力を伸ばしていくということが書かれた教科書はどれなのでしょう。そういった視点でつくられている教科書が素晴らしい教科書だと私は感じます。スポーツができる、できないで分けられるようになると体育が嫌いというこどもが増え、この子たちは向上心も持てないので、自分の成長としてとらえられるような教科書であってほしいなと思います。

○ 波止元指導主事

⑤の視点、生涯にわたる豊かなスポーツライフにつなげるための工夫で調査した内容がここに書いてあるページに示されています。改めてこのページを見ていただいて検討していただければと思います。

○ 船谷委員

これは3年間使用する教科書ですね。

○ 小田会長

はい。3年間使用します。

○ 船谷委員

学研教育みらいだと、体力テストの結果を記入する欄が3年分ほしいんですよ。それを自分の目標にして、自分の成長を確認していけると良いなと思います。

○ 小田会長

体力を伸ばすという点では、報告にもありましたように、大日本図書と大修館書店が自分の体力を伸ばすためのトレーニングを計画する活動がありました。実際には、学研教育みらいにあるような記録表やレーダーチャートは活用されていますか。

○ 荏隈委員

記録表やレーダーチャートについては、体力テストを実施する際に別の記録用紙が届くので、教科書よりもそちらの用紙を使用することが多いと思います。体力テストは3年間実施すると過去の記録もまとめられた用紙が届くので、レーダーチャートがどうかというよりは、個々の課題に応じた取組を行うためにも大修館書店67ページにあるような、計画を立てる学習内容が今話し合われているところに近いのではないかと感じます。大修館書店は視覚的にも見やすく、Aさん、Bさんの例もあって分かりやすいと思いました。

○ 小田会長

体力を高めるということが課題で、それを主体的に取り組むという点において、目に見えて

体力を高めるためにアプローチをしようとしているのは大日本図書と大修館書店の2つかなと思います。体力を高めるという視点や自然災害の記述の状況等についてご意見をいただいたところでは、大修館書店と東京書籍という感じだと思うのですが、どちらがよりふさわしいでしょうか。

○ 佐々木（英）委員

よりふさわしいのは大修館書店だと思います。総合的に見て本市の生徒の課題にしっかり沿っていると思いますし、生活習慣の課題を見直す点においても充実していると思うので、よりふさわしいのは大修館書店だと思います。次のふさわしいが東京書籍か学研教育みらいか、それを私は悩みます。

○ 小田会長

今のご意見を受けて、頷いている方も多いようですが、よりふさわしいのは大修館書店でよろしいですか。ありがとうございます。ふさわしいのはどれかをしぼっていくためにご意見をいただきたいのですが。

○ 佐々木（功）委員

一番初めに荏隈委員が言われたのですが、観点3の④の視点で本市の実態に対しての朝食欠食の部分とスマートフォン等のスクリーンタイムのところで大修館書店と東京書籍が出てきていたと思うので、この2者は外せないのかなと私は思っています。

○ 小田会長

違うご意見がある方はいらっしゃいますか。それでは意見がないようですので、よりふさわしいのは大修館書店、ふさわしいのは東京書籍で答申してもよろしいでしょうか。

（一同頷く）

○ 小田会長

ありがとうございました。それでは、本日の審議の結果をまとめ、教育委員会に答申したいと思います。よろしいでしょうか。

（意義なし）

○ 小田会長

賛同の声をいただいておりますが、広島市教科用図書採択審議会規則第6条に基づき、過半数で決することとなっておりますので、挙手をお願いします。

（賛成の挙手）

○ 小田会長

全員に賛成の挙手をいただきましたので、可決いたしました。それでは、教育委員会から諮問された教科書の調査・研究について、慎重に審議を行った結果を先ほど可決いただいたように、答申します。以後は、会長の責任において、事務局との間で答申の事務手続きを行いたい

と思いますが、会長に一任していただくということによろしいでしょうか。

(意義なし)

○ 小田会長

それでは、これで本日のすべての審議を終了します。

委員の皆様の御協力によって、広島市の教科書採択について、公正かつ適正に審議し、教育委員会へ答申することができそうです。委員の皆様、御協力ありがとうございました。

○ 藤本指導主事

委員のみなさまありがとうございました。最後に指導第二課長より御挨拶をさせていただきます。

(課長挨拶 別紙)

○ 藤本指導主事

長時間にわたり、委員の皆様大変ありがとうございました。

最後に何点か事務連絡いたします。

(事務連絡)

以上でございます。これで、令和6年度第3回広島市教科用図書採択審議会を閉会します。ありがとうございました。気を付けてお帰りください。